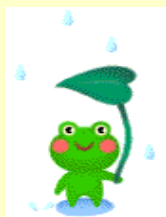


令和5年度2月号

算数・数学チャレンジクラブだより



1年間頑張った結果は必ず
将来の自分のためになると
カンガエル

(公財)金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号

Tel:076(221)2061 Fax:076(221)2062

e-mail: kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

今月が みなさんにとって「令和5年度算数・数学チャレンジクラブ及び
オリンピック支援講座」の最終回となります。

今年の修了生は、小学6年生90名、中学3年生26名、合計116名です。
オリンピック支援講座は、小学6年生17名、中学3年生7名が修了を迎えま
す。小学6年生の皆さん、中学3年生の皆さん、修了おめでとうございます。

小学生は「算数する心」を大切に育み、中学生になっても数学する楽しさを
追求していきましょう。また、中学生はより高度な数学にチャレンジし続け
「数学する心」を大切にしてください。



今後の予定表

注：予定が変更になることもあります。財団 HP
で最新の情報を随時チェックしてください。

① 講座の予定 (通常の講座時間は 10:00～11:45)

月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
2月	2月10日(土) 閉講講座・閉講式 『パズル&謎解き 初級』	2月3日(土) 閉講講座・修了式 『あてっこ ゲーム』	2月18日(日) 閉講講座・閉講式 中1『モンテホール・シ ンマにチャレンジ!』 中2『折り鶴と数学』	2月25日(日) 閉講講座・閉講式 ・修了式
	2月24日(土) 10:00～ 第2回思考力検定(検定申込者のみ) 受付: 9時30分～9時45分 説明・諸注意 9時50分～ 検定開始: 10時 (終了は受検級による)			

② 令和6年度講座のお知らせ *予定案ですので変更することがあります。

通常、講座は10時開始、11時45分終了です。年間11回開催します。講座によっては、小学生はA組とB組に分かれることもあります。中学生は、中1・中2・中3と3教室に分かれることが多いです。中1～中3の一括で実施する場合もあります。年会費は1500円です。講座を担当するのは、金沢市及び近郊に現在勤務している小学校・中学校・高校・大学の教員です。補助指導に大学生が入ります。年に1～2回程度、県外から講師を招いて特別講座を開きます。夏には小学生、冬には中学生の特別講座を開催する予定です。

また、さらに高いレベルをめざすクラブ員は、6月16日(日)の算数オリンピックトライアル地方大会に団体受検で挑戦することができます。受検料は、5,250円です。

なおオリンピック支援講座は、新規講座生の募集をせず、6月までに4回開催し終了となります。昨年度の受講生で講座に残ることを希望した若干名のみの参加となります。6年度は新たにオリンピック特別講座を冬に2回開催します。これは、チャレンジクラブ員全員から参加の希望を取ります。

6年度当初の講座の日程及び内容は、以下の予定です。

月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
4月	4月20日(土) 開講式 10:00～ 開講講座 式後～12:00 『テープの輪を使って』	4月13日(土) 開講講座 10:00～11:45 『数列脳トレ』	4月14日(日) 開講式 10:00～ 開講講座 式後～12:00 『図形消失パズル』	4月7日(日) 開講講座 10:00～ ① 3つの教室(小6:算数オリンピック・中1&中2:ジュニア広中杯・中3:広中杯)で講座を実施します。
5月	5月18日(土) 『Tパズル』	5月11日(土) 『二進数サイコロ』	5月26日(日) 中1 『数列と芸術』 中2 『文字式』 中3 『中国剰余定理』	② 4月21日(日) ③ 5月19日(日)
6月	6月15日(土) A組『プログラミング』 B組『ルービックキューブ』	6月8日(土) A組『グラフ通りに歩こう』 B組『ポリドロン』	6月25日(日) 中学生オープン特別講座・ 金沢大学附属高校生との 全体交流会 その後 中1 『魔法陣と数学』 中2 『天秤問題』 中3 『数式変形』	④ 6月9日(日) *算数オリンピック トライアル地方大会 6月16日(日) 14:00～

新しい内容の講座の様子

① 小学6年生講座 『“自分レート”な単位を作ろう』 12月9日(土)



指導者は、金沢工業大学 石原 由貴先生 金井 亮先生
坂井 仁美先生 山内 柊太学生先生

1キュービットというのは、ひじから指先までの長さのことです。人によって40cmだったり、50cmだったりバラバラです。これを利用して、机やロープなどいろいろなものの長さを測りました。次に、お菓子のビスコを積み上げました。(写真左)自分が積み上げた個数÷友達が積み上げた個数で、どちらが優位に立てたかがわかります。目の前においしそうなお菓子がたくさんあって、クラブ員は目の色を変えて積み上げ、とても盛り上がっていました。そして、一人一個おみやげのビスコにとっても満足していました。

② 中学生特別講座 『基石やマッチ棒の数の増え方を調べよう』 12月10日(日)



指導者は、上越教育大学教授 高橋 等先生

基石やマッチ棒が1段・2段・3段・・・と増えていくと、その総数がどうなっていくのかを考えました。最初はただ並べるだけだと思っていたクラブ員でしたが、段数を増やしていくうちに規則性のある文字式を発見して、とても驚いていました。中学1年生から3年生まで、年齢や数学の既習事項には大きな差があったのですが、静かに燃え上がる様ないい雰囲気での学習が進められました。クラブ員からの質問にも、先生はとても丁寧に対応してくださいました。(写真左)最後の感想にも「求め方がわかる過程がすばらしかった」とか、「とてもおもしろくわかりやすい講座だった」とたくさんの賞賛の声が書かれていました。